

東京ドキュメンタリー映画祭2020
短編部門
グランプリ受賞

文京SOGIにじいろ映画会

- トランスジェンダー当事者を追ったドキュメンタリー映画のオンライン上映
- 当事者によるトークライブ

トランスジェンダーも
そうでない人も、
今も昔もずっとともに生きている。
自分達は特別な存在ではない。
今、私たちが伝えたいこと。

ドキュメンタリー映画

I Am Here

～私たちは ともに生きている～

2021年7月10日(土)
午後2時から4時まで

Zoom
開催

事前申込
必須

対象：どなたでも（無料）
定員：80人程度（申込順）
申込：区HPの「電子申請」から申込

<https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo2/uketsuke/form.do?id=1620793265339>

申込受付：6月10日（木）から7月7日（水）まで

- ・「Zoom」（オンライン会議ツール）を使用します。使用する端末1台ごとに1件のお申込みをお願いします。
- ・詳細は、区ホームページをご確認ください。

<https://www.city.bunkyo.lg.jp/kusejoho/jinken/danjo/sogi/nijiroeigakai.html>

申込はこちら



区HPはこちら



文京区総務部総務課ダイバーシティ推進担当(平日9時から17時まで)

☎03(5803)1187 FAX 03(5803)1331



あらすじ



2004年、日本のGID[※]当事者たちが待ち望んでいた『GID特例法（性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律）』が制定された。

当事者として既に手術を経て性別変更を済ませている僕、浅沼智也は「当事者の現状を多くの人に知ってもらい、より生きやすい社会になるようにしたい。孤立しがちな当事者に、決して一人ではないというメッセージを送りたい」との思いから映画制作を決め、今まで避けていた「セクシュアリティの話」を父親と行いきちんと向き合ってみようと思いつく。性別変更に賛成はしてくれなかった両親。お互い年月を経てもたらされる『変化』。

今を生きる日本全国の性に揺らぎがある当事者にフォーカスを当て、心の内を聞くことで『他者に押し付けられる「らしさ」との葛藤』『就職活動の「性別の壁」』『未成年の子供がいないことや手術を必須としている「性別変更の法律」のハードルの高さ』などが、それぞれの思いとともに映し出される。

※GID：性同一性障害(Gender Identity Disorder)の略称。医療機関を受診し、出生登録時の性と性自認が一致しないと診断された人々に対する医学的な疾患・診断名。

2020年/日本/日本語字幕付き/ドキュメント

監督・主演：浅沼智也

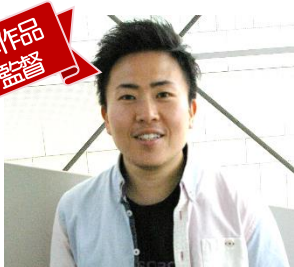
出演：愛光/青木未央/和泉有紀/乾菜月/尾崎日菜子/おすぎ純子/瞬/杉山文野/虎井まさ衛/中川美悠/畑野とまと/三橋順子/ミムラ/宮田りりい/山本蘭

トークライブ ゲスト紹介



屋成 和昭（やなり かずあき）氏（株式会社アウト・ジャパン代表取締役）

1974年京都府生まれ。関西大学卒業。約20年にわたり、新卒採用コンサルティングを行うベンチャー企業にて数多くの企業の採用活動に携わる。2016年にLGBT採用支援を行う新会社の立ち上げに関わることで、企業にとってLGBTに配慮しないことがいかに損失を生んでいるかを実感。「より多くの企業様にLGBTダイバーシティを広めたい」と、株式会社アウト・ジャパンへ入社。現在は大手企業から中小・ベンチャー企業まで幅広くLGBTダイバーシティのコンサルティングに携わる。



浅沼 智也（あさぬま ともや）氏（TRANS VOICE IN JAPAN代表）

1989年生まれ。岡山県総社市出身。トランス男性。看護師。TRANS VOICE IN JAPAN代表。トランスジェンダーがより生きやすい社会になるよう啓発活動をしている。著者「虹色ジャ〜ニ〜 女と男と時々ハーフ」文芸社、ドキュメンタリー映画「I Am Here-私たちはともに生きている-」監督・制作。

関連事業紹介

文京SOGIにじいろサロン

SOGIについてのミニ講義を行ったり、参加者同士で楽しくおしゃべりしたりできます。お気軽にお越しください。

終了後、講師との個別相談もできます。

日程：奇数月の第4日曜日
⇒次回は7月25日(日)開催
時間：午後2時から4時まで
定員：約20人

場所・詳細はこちら



新型コロナウイルスの感染状況により、開催方法の変更または中止になる場合があります。

SOGIとは？

Sexual Orientation 「性的指向」とGender Identity 「性自認」の頭文字をとった言葉です。

「性的指向」とは、恋愛感情や性的な関心が主にどの性別に向いているか／いないかのことで、好きになる対象は異性だけとは限らず、性的な関心や恋愛感情自体を抱かない人もいます。

「性自認」とは、自分がどの性別である／ないと思っているかということです。この感覚は、出生登録時の性と同じとは限りません。